

<教育目標>

**確かに学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成**



困難に負けないたくましい子	進んで学ぶ子	笑顔あふれる優しい子
<p>◆めあてに向かって、最後までやり抜く子</p> <p>◆進んで運動し、体を鍛える子</p> <p>◆健康・安全に気を付けて生活する子</p>	<p>◆相手の話をしっかり聞いて考える子</p> <p>◆自分の考えを持ち、分かりやすく表現する子</p> <p>◆課題意識を持ち、進んで学習に取り組む子</p>	<p>◆進んで挨拶し、言葉遣いに気を付ける子</p> <p>◆相手を思いやって行動する子</p>
<p>&lt;取組の重点項目&gt;</p> <p>●自己肯定感・自己有用感を育む指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育及び特別活動の充実</li> <li>・目標の設定と振り返り</li> <li>・一人一人に応じた活躍の場の設定</li> <li>・全教職員での肯定的な声掛け</li> </ul> <p>●基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携した「早寝、早起き、朝ごはん」の推進</li> </ul> <p>●健やかな体の育成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外遊びの推奨</li> <li>・運動の日常化に向けた取組</li> <li>・食育の推進</li> <li>・感染予防を含めた健康教育の推進</li> </ul>	<p>&lt;取組の重点項目&gt;</p> <p>●自己肯定感・自己有用感を育む指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識と達成感を持たせるための授業展開の工夫</li> <li>【読書活動の推進】</li> <li>【ICTを活用した教育の推進】</li> </ul> <p>●家庭学習の意欲付けと学習準備の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「柊江スタンダード」の推進</li> <li>・自主学习ノートコンクールの実施</li> </ul> <p>●校内研究の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉の力」を育む 国語科の授業づくり</li> </ul>	<p>&lt;取組の重点項目&gt;</p> <p>●自己肯定感・自己有用感を育む指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分づくり教育の確実な実践</li> <li>・道徳教育及び特別活動の充実</li> </ul> <p>●思いやりのある行動や言葉遣いの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキルアップタイムの実施</li> <li>・家庭・地域との協働した 取組の強化</li> </ul> <p>◆人との関わりを重視した活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割りを生かした活動の充実</li> <li>・体験活動の充実 (外部講師の招聘、校外学習の活用)</li> </ul>

## ＜協働型学校評価到達目標＞

自己肯定感・自己有用感を高める取組を通して、「主体的に行動することができた」と実感できる子が80%以上になるようにする。

### 評価の視点

- ◎目標を掲げ、達成に向けて努力し続けている。
- ◎進んで運動し、体を鍛えている。
- ◎健康や安全に気を付けて生活している
- ◎進んで挨拶し適切な言葉遣いができている。
- ◎相手の話をしっかり聞くことができている。
- ◎自分の考えを分かりやすく表現している。
- ◎課題意識を持ち、進んで学習に取り組んでいる。
- ◎進んで挨拶し、言葉遣いに気を付けている。
- ◎思いやりのある行動ができている。

### 実感を伴った評価方法

- 児童・教職員・保護者アンケートによる実態調査把握と変容の見取りを行う。
  - ・児童に関しては、年2回の自己評価を行う。
  - ・複数の視点の評価結果を総合して判断する。
- 家庭と連携した目標設定と取組に対する評価（頑張りや成長を認める言葉掛け等）を行う。

## 三者による協働と役割分担

### 学 校

- 自己肯定感・自己有用感を育む指導の工夫
- 挨拶や言葉遣いの指導と声掛け
- 他者との関わりを重視した活動の展開
- 児童会の一員としての自覚を促す活動の工夫
- 道徳教育に関する職員研修の充実
- 健康な体づくり（運動の日常化）に向けた取組
- 目標ややりがいを持たせる活動の展開
- 成長が実感できる評価方法の工夫（PDCAサイクルの活用）など

### 家 庭

- 子供との会話の充実（子供の頑張りに対する「褒める・認める」などの言葉掛け）
- 基本的な生活習慣の育成
  - ・早寝・早起き・朝ごはんや歯磨き、運動の習慣化
  - ・ゲーム・スマホなどのルールの徹底
- 挨拶や言葉遣いの指導と声掛け
- 家庭学習・学習準備の習慣化
- 家族の一員としての役割分担とそれに対する評価
- 学校行事、PTA活動・地域活動への積極的な参加・協力など

### 地 域

- 健全育成に関する協力
  - 児童の安全の見守り
  - 学校行事・PTA活動への協力
  - 挨拶や言葉遣いの指導と声掛け
  - 家庭・地域と一緒にできる活動の企画・運営
- など